

来光

第29号

浄土宗

迎 接 院

令和3年7月

大切なこと

住職 伊藤信道



『来光』第29号をお届けします。本年より、新しい取り組みを始めました。「大切なこと」(ブツダの樹プロダクション制作)の紹介です。「仏様の大切な教え」「よく生きる為のヒント」となる「大切なこと」が五十音順に優しい絵とセットで綴られています。これを毎月5つの言葉を折り句にして紹介。「寺子屋ちゃんねる」ではオンラインで発信しています。「大切なことのた」は「たいせつ」。

「なにより たいせつなもの わがいのち あなたのいのち」とあります。コロナ禍で生活する私たちが、改めて感じる命の大切さです。



先日より高齢者のワクチン接種が進み、少しずつ社会が落ち着きを取り戻そうとしています。しかし油断は禁物。無理や無茶は中道を重んじる仏教が退けてきた姿勢です。

大切な私や相手の命を守るため、「三密」を避けることは当分続けていく必要があります。迎接院では、本堂に Wi-Fi が繋がっております。積極的に活用し、「大切な人との繋がり」を持てるお寺でありたいと思います。 合掌



大切な私や相手の命を守るため、「三密」を避けることは当分続けていく必要があります。迎接院では、本堂に Wi-Fi が繋がっております。積極的に活用し、「大切な人との繋がり」を持てるお寺でありたいと思います。 合掌



- 1 頁：大切なこと、目次
- 2 頁：葬儀や法事、日常の活動もオンラインでつながる！
- 3 頁：迎接院 法話の会 (御忌法要)
- 4 頁：伊藤晃希 佛教大学を卒業しました
伊藤宏道 伝宗伝戒道場 無事成満しました
- 5 頁：<第9回> 『選択集』を読もう
- 6 頁：施餓鬼会のご案内、棚経について
- 7 頁：夏休み子ども寺子屋を開催します、今後の日程、
なむちゃん、『浄土宗新聞』を読もう！
- 8 頁：秋彼岸「佛さまと弓浜手作り市」のご案内

ご安全に ナムナム



葬儀や法事、日常の活動もオンラインでつながる！

新型コロナウイルス感染症の影響で、人の往来に制限を伴う昨今です。そんな中、ロンドンに在住のお檀家さんと^{スカイプ}Skypeを利用して一周忌の法事を執り行いました。9時間の時差を越えて、画面ごしに本堂とつながります。お浄土にいらっしゃる大切な方と一緒に、心のこもった、ありがたい法要となりました。世界のどこで暮らしていても、時間やオンラインを上手に利用して、心を通わせることはできるのだと実感致します。



関西に在住のお檀家さんとは、^{メッセンジャー}messengerを利用してご命日のオンライン法要を行いました。とても喜んでくださり、大変嬉しく思いました。お葬式もご法事も、通信アプリを利用すれば、どこからでも気軽に参加いただくことができます。遠慮なくご相談ください。

「遠くて参加できません」「感染予防の為に御参りできません」から「〇〇アプリで参加します！」へ。「できません」から「致しましょう」へ。選択肢が増えることは、ありがたいと思います。

お寺の日常的な活動も、コロナ禍の影響を受けています。普通にできていたことが実施できなくなっていることもたくさんあります。寺子屋サロンも、これまで定期的に福祉施設を訪問していたのですが、実施できなくなっています。そこでライブ配信「寺子屋ちゃんねる」を始めました。すると、これまでつながっていなかった方との新たな「ご縁」も生まれています。

迎接院 法話の会（御忌法要）の様子（3頁参照）もライブ配信しております。ぜひご覧頂き、お寺とのご縁を深めてください。

寺子屋ちゃんねる絶賛(^^)配信中。
私たちの元気な姿を見てください。



迎接院 法話の会 (御忌法要)

本年1月25日は、法然上人810回目の^{しょうつきめいにち}祥月命日でした。ご法事にあたる^{ぎよき}御忌法要を行いました。^{もちがせ}用瀬大善寺の^{よねむらしょうかん}米村昭寛上人のご法話も拝聴いたしました。感染^{フェイスブック}予防に密を避けるために、本堂と庫裏の書院を使って2会場で開催。^{フェイスブック}Facebookのライブ配信で繋ぎました(迎接院のホームページから^{フェイスブック}Facebookにお入りいただくとライブ配信をご視聴いただけます)。またご参拝の皆様は、鳥取教区教化団より、3種類のクリアファイルと4冊の小冊子をプレゼントいただきました。教化団長の^{りんせき}城戸上人、副団長の北村上人もご臨席くださり、ありがたい法要となりました。



スクリーンに大きく映されてなかなかいいわ。

「念佛を称える私たち」はどのような死を迎えても安心なのですよ。



人の死の縁は予ねて思うにも叶い候^{そうろう}わす。にわかにおおじ大路、径にて終る事も候^{そうろう}。また大小便利のところにて死ぬる人も候^{そうろう}。ま前業逃れ難くて、^{たちかたな}太刀小刀にて命を失い、火に焼け水に^{おほ}溺れて命を滅ぼす類^{たぐい}多く候^{そうろう}。え、さように死に候^{そうろう}とも、日ご^{そうろう}ろの念仏申して極楽へ参る心だにも候^{そうろう}人ならば、息の絶えん時に、阿弥陀・観音・勢至来たり迎え給うべしと信じ思召すべ^{そうろう}きにて候^{そうろう}なり。(法然上人御法語より)

ご家庭で配信をご覧になった方から、とてもよかったと嬉しい言葉を頂きました。



伊藤晃希 ^{こうき} 佛教大学を卒業しました



長男の晃希が、本年3月に佛教大学を卒業いたしました。よき先生方や仲間に恵まれ、楽しく有意義な4年間を過ごすことができましたようです。親としてありがたいと喜んでおります。

卒業後の進路について本人もいろいろと考えたようですが、

佛教大学の大学院（文学研究科 仏教学専攻）へ進むことになりました。現在は基本的な仏教文献の読解にかなり苦労しているようです。頑張り！



伊藤宏道 ^{こうどう} 伝宗伝戒道場 ^{でんしゅうでんかい} 無事成満 ^{じょうまん} しました



住職の義弟であり、弟子の宏道が、令和2年12月4日浄土宗伝宗伝戒道場（総本山知恩院）^{でんしゅうでんかい} に入行。知恩院門跡伊藤唯真 ^{もんぜき} 猊下 ^{けいか} より宗脈戒脈 ^{しゅうみやくかいみやく} を授かり、12月25日無事成満。晴れて浄土宗僧侶となりました。

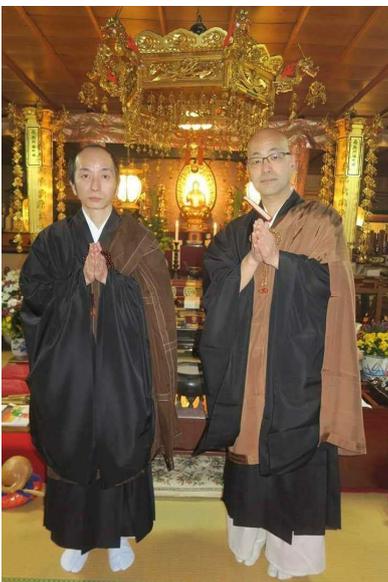


一昨年の晃希の時とは違い、人数制限やマスク着用、手指消毒等コロナ禍での道場でありました。親子ほど歳の離れた他の入行者と一緒にの道場は肉体的にかなり大変だったと思います。

県をまたぐ移動が ^{はばか} 憚られ、成満は京都にいる晃希が見届けました。

宏道は「平成大修理を経て、厳かな輝きに包まれた御影堂 ^{みえいどう}（大殿）での道場は、とても有り難かった。」と申しておりました。

晃希共々、迎接院の為に力を尽くしてくれると思います。何卒よろしく願いいたします。 合掌





念佛の行者

選択集

第九章

四修の法を行用すべきの章

第九章段では、念佛者としてあるべき四つの態度「^{ししゅう}四修」について説かれます。四修とは、^{くぎょうしゅう}恭敬修・^{むよしゅう}無余修・^{むけんじゅう}無間修・^{じょうじしゅう}長時修の四つをいいます。

「^{くぎょうしゅう}恭敬修」とは、佛及び全ての^{しょうじゅう}聖衆等に対して敬いの心を持つ態度。

「^{むよしゅう}無余修」とは、ひたすらお念佛の一行を修し、他の行を交えない態度。

「^{むけんじゅう}無間修」とは、お念佛を絶え間なくお称えすることを継続する態度。

「^{じょうじしゅう}長時修」とは、一生涯を通じてお念佛を修する態度のことです。

絵図に阿弥陀三尊（阿弥陀仏・観音菩薩・勢至菩薩）の掛け軸や「阿弥陀経」を祀っているのは敬いの姿を表しています。僧侶や男性・女性は、共々にお念佛をお称えしています。共に勧め合い、助け合い、敬うことが念佛相続の姿なのです。四修を実践する三名に向けて、阿弥陀様からの救いのみ光「^{こうみょうせつしゅう}光明攝取の^{すじ}筋」が線として描かれています。

せがきえ 施餓鬼会のご案内

先祖廻向をお申し込みください

恒例の施餓鬼会を7月27日(火)10時30分の開筵かいえん ぶしゆうで奉修致します。
昨年同様「三密」防止を考え本年も迎接院の僧侶のみで勤めます。参加も初盆

のお宅を優先にします。詠唱奉納は前日に行い当日

オンラインで紹介。法要終了後の会食もできません。

賑にぎやかな法要を実施できないのは残念ですが、役員
さんはじめ寺の者で精一杯勤めますので、何卒ご理
解のほどお願い致します。法要の様子は、フェイスブック **Facebook**

「紫雲山迎接院」(迎接院ホームページから入れます)

上で紹介致します。オンラインでぜひご参加ください。



先祖廻向えこうは、塔婆とうぼの準備をしますので7月20日までにお申し込み
ください。先祖廻向のきようぎとうぼ経木塔婆は、京都で晃希が準備しています。
また初盆廻向につきましては、別途ご案内致します。

たなきょう 棚経について

本年の予定は下記の通りです。目安ですので急な変更はご容赦ください。コロナ
感染を心配されるお宅は外から拜ませてもらいますのでご連絡ください。

棚経の日程の問い合わせが例年多くあります。一応の目安としては、

- 1日：皆生・淀江・箕蚊屋方面、夜見1区
- 2日：夜見1・2区
- 3日：尚徳・岸本・南部・福原・米原方面、夜見2区
- 4日：河崎・後藤ヶ丘・啓成・彦名方面、夜見3区
- 5日：夜見1・2・3・6区
- 6日：夜見新田・彦名・河崎方面
- 7日：境港・富益・河崎・両三柳方面
- 8日：(予備日)

☆初盆のお宅は、13日午後～15日の間に廻ります

☆葬儀や天候、廻り順等の影響で変更となる場合もあります。

随時、迎接院ホームページに掲載しますのでご確認ください。



夏休み子ども寺子屋を開催します！

毎年恒例の夏休み子ども寺子屋を行います。「新しい生活様式」を取り入れて、新型コロナウイルス感染防止に努めながら開催します。定員は20名。参加は無料。弓ヶ浜小学校の児童は、学校から配布される用紙に記入して申し込んでください。弓ヶ浜小学校以外でご希望の方は、下記担当へご連絡ください。

担当：伊藤 紀子 ☎29-0809



☆今後の日程☆

- 7月27日 ^{せがきえ} 施餓鬼会 (6頁参照)
- 8月 1日 ^{たなぎよう} 棚経開始 (6頁参照)
- 8月16日 ^{せいれい} 夜見町精霊送り
- 8月25日 ^{じゆずく} 数珠繰り念佛会
- 9月23日 ^{ゆみはま} 佛様と弓浜手作り市 (8頁参照)
- 12月11日 ^{じようぼんえ} 浄焚会

※本堂にお祀りしている平成31年・令和元年にお亡くなりになった方の白木位牌を焚きあげます。是非お参りください。

『浄土宗新聞』を読もう！

『浄土宗新聞』は、浄土宗が月に1回発行している月刊誌です。お寺と檀信徒をつなぐことを目指し、知恩院や全国のお寺のニュース、浄土宗の教えなどわかりやすく伝えてくれます。當山でも現在100部取り寄せて本堂に置いています。ぜひ手にとって気軽に読んでみませんか。



『浄土宗新聞』は無料です。



浄土宗HPより引用

秋彼岸「佛さまと弓浜手作り市」のご案内

今秋の新型コロナウイルスの感染状況は想像できませんが、米子市の計画では8月中旬までに65歳以上のワクチン接種が完了予定。64歳以下のワクチン接種も秋にはかなり進んでいると思われます。そこで役員さんと相談し、第4回秋彼岸「佛さまと弓浜手作り市」開催の方向で準備に取り組むこととなりました。



第4回「佛さまと弓浜手作り市」 9月23日 (木・秋分の日)

現在予定していることをお知らせします。基本的には、コロナ禍であった昨年と同じ流れを予定しています。

- ・参加者は、マスク着用&手指消毒。
- ・念佛行脚は昨年同様中止。
- ・「緋でインタビュー」を行います。
- ・活動は屋外中心。屋内は人数制限します。
- ・販売はテイクアウト中心。
- ・子ども先着30名にかき氷プレゼント。

◇日程◇

- 10:00～ 開白法要
- 10:30～ 出店紹介
- 12:00～ 緋でインタビュー
- 12:30～ 結願法要
- 13:00～ お祭り終了

☆変更することもあります☆

○内容は、現在検討中です



現在、出店者さんとも打ち合わせが進行中。ロイヤルコーヒーさん(屋台) やわたなべ農園さん(野菜) などなど。

詳しい情報は随時「[迎接院ホームページ](#)」で お知らせします。にぎやかになりそうです。



今年はフリーアナウンサーの和田^{としこ}季子さんがお越しくださることとなりました。和田さんは、長年山陰放送の^{タタズ}アナウンサーとして活躍され、現在は DARA ZU FM や中海テレビに出演しておられます。

ラジオ収録のため今年に参加できない中岡みずえさんが、「私が一番信頼している人」とご紹介くださいました。このご縁に感謝です。お楽しみに！